



防災情報に注意

洪水や土砂災害は、大雨をきっかけに発生することが多く、また、災害の前にはその予兆が現れる場合があります。気象状況の変化や危険箇所周辺の状況に注意し、危険を感じたら早めに避難しましょう。

気象情報に注意しましょう

気象庁は、大雨や強風などの気象現象によって災害が起こるおそれのあるときに「注意報」を、また重大な災害が起こるおそれのあるときに「警報」を発表し、注意や警戒を呼びかけます。土砂災害や洪水の危険性がある地区にお住まいの方は、これらの情報に注意して、自主的に避難をしましょう。「警戒レベル5」の状況では災害が発生して避難できなくなる可能性があることから、「警戒レベル3」や「警戒レベル4」の段階で避難することが重要です。特に、避難行動に支援を必要とされる方は、早めに避難を開始しましょう。

警戒レベル	住民がとるべき行動	市町村の情報	警戒レベルに相当する気象庁等の情報※3		
			警報等	キキクル(危険度分布)	指定河川洪水予報
5	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	大雨 特別警報	災害切迫	氾濫発生情報

警戒レベル4までに必ず避難!

4	危険な場所から 全員避難 ・過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく。 ・台風などにより暴風が予想されるときは、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示	土砂災害 警戒情報	危険	氾濫 危険情報
3	危険な場所から 高齢者等は避難 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報	警戒 (警報級)	氾濫 警戒情報

2	ハザードマップなどで 避難行動を確認 危険な区域※1や避難情報などを再確認		大雨注意報※2 洪水注意報	注意 (注意報級)	氾濫 注意情報
1	災害への心構えを 高める		早期注意情報 (警報級の可能性)		

詳細はこちら 気象庁ホームページ「防災気象情報と警戒レベルとの対応の詳細について」
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/alertlevel.html>



※1 災害が想定されている区域(土砂災害警戒区域や浸水想定区域)などを日ごろから確認し、避難の判断の際にご活用ください。
※2 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替わる可能性が高い注意報は、高齢者等避難(警戒レベル3)に相当します。
※3 気象庁などの特別警報・警報・注意報は概ね市町村ごとに、キキクル(危険度分布)は概ね1km四方の領域ごとに、指定河川洪水予報(氾濫発生情報、氾濫危険情報、氾濫警戒情報、氾濫注意情報)は河川ごとに発表されます。

出典:気象庁ホームページ

避難に関する情報

台風や集中豪雨などにより、災害が発生するおそれが高まったとき、避難についての情報が発令されます。避難情報と合わせて出される警戒レベルにも注意しましょう。「警戒レベル3 高齢者等避難」で危険な場所から高齢の方などは避難、「警戒レベル4 避難指示」で高齢の方などに限らず全員が危険な場所から避難しましょう。

警戒レベル	区分	発令される状況・内容	市民のみなさんに求める行動	緊急度
5	緊急安全確保※1	人命にかかわるような災害が発生または切迫している状況のとき	命の危険 直ちに安全確保! 立ち退き避難をすることがかえって危険である場合、「垂直避難」するなど命を守る最善の行動をとる。	高い
警戒レベル4までに必ず避難!				
4	避難指示	・災害が発生するおそれが高い状況のとき ・災害リスクのある区域の居住者などが危険な場所から避難すべき状況のとき	危険な場所から全員避難 ・避難行動は、「立ち退き避難」が基本です。 ・屋内で身の安全を確保できるかなどを確認したうえで「屋内安全確保」することも可能です。	低い
3	高齢者等避難	・災害が発生するおそれがある状況のとき ・災害リスクのある区域の高齢者等が危険な場所から避難すべき状況のとき	危険な場所から高齢者等は避難※2 ・避難行動要支援者など、特に避難行動に時間を要する方とその家族は、計画された避難所への避難行動を開始する。 ・避難行動は、「立ち退き避難」が基本です。 ・屋内で身の安全を確保できるかなどを確認したうえで「屋内安全確保」することも可能です。	

※1 市が災害の発生・切迫を把握できた場合に可能な範囲で発令する情報であり、必ず発令する情報ではありません。

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

河川の洪水予報に注意しましょう

阿武隈川、釈迦堂川、滑川では、河川の増水やはん濫に対する水防活動の判断や住民の避難行動の参考となるように、特定の区間の水位にもとづき予報が発表されます。大雨が続くようときは、洪水予報にも注意し、河川はん濫のおそれがあるときは早めに安全な場所に避難しましょう。

基準水位 各水位観測所の危険水位は、受け持ち区間の危険箇所の中で最も早くはん濫する危険のある箇所により決定されます。

河川	阿武隈川	釈迦堂川	滑川
水位観測所	須賀川	西川	関下
氾濫危険水位	7.70m	5.70m	2.76m
避難判断水位	7.10m	4.90m	2.24m
氾濫注意水位	4.50m	4.00m	1.80m
水防団待機水位	3.50m	3.20m	1.30m

普段の水位

増水した河川の様子を見に行くのは非常に危険です。絶対に近づかないようにしましょう!